



街かど gallery



八女市
檀 浪江

遠い日の小学生の頃、スケッチの時間は、前から楽しみでワクワクしていました。その後、毎日の生活に追われて描く機会もなく過ごしていましたが、美術館には時折行っていました。五十代半ばで退職、油絵を習ってみたいなど、漠然と思っていました折、友人宅を訪問したら、絵画教室に通っているとの事でした。即座に、「是非、先生に紹介して！」とお願いして習う事になりました。

通い始めて数年経ちますが、既成概念で描こうとするので、難しく思う様にいきませんが、先生の指導の下、一枚の絵になっていきます。教室の雰囲気もとても良く、皆さんとおしゃべりするのも楽しみです。

この絵は、北海道のガーデン風景です。メルヘンと幸せを呼ぶ様に、魅せられて描きました。仲々、上達しませんが、趣味として楽しみながら、続けていけたらと思っています。

私たち西牟田ジャガーズは、筑後市少年野球育成会に所属し、再来年創部30周年を迎えます。創部以来、馬場節夫監督の勝つためだけの野球ではなく、心身の鍛錬と児童の健全育成をモットーにした指導のもと、日々練習に励んでいます。

今年は部員約半数を占めていた六年生が卒部し、現在わずか12名ですが、チームワークを大切に元気に楽しく活動しています。

また、クリスマス会や恒例のプロ野球宮崎キャンプ見学などのお楽しみ行事で、保護者間の交流・親睦も深まり、試合のお世話や応援もチーム一丸となって取り組んでいます。

7月に行われた福岡県学童軟式野球筑後支部大会では、全員野球で見事準優勝に輝き、子供たちも大きな自信を胸に、さらなる努力を誓っています。何よりナイスプレーした時の面々の笑顔は最高です。

今後とも、西牟田ジャガーズへの応援よろしくお願いします。部員も大募集中です！

(西牟田ジャガーズ
保護者会一同)



馬場節夫 監督



近場の名湯

朝夕はやや過ごし易くなり、鳴く蟬の種類も変わりだしたようだ。とはいえ、日中の厳しい暑さはまだまだ続きそうである。こんな時には海の岩場もフライパン状態なので、釣りは敬遠しがちになってしまう。

そこで、いざ釣りへ気持ち良く行く時の為に、山の神を温泉に誘う。

温泉といえば遠い、という先入観があるかもしれないが、かなり近場（車で40分位）に名湯が存在しているのを、ご存知ない方も意外と多いようだ。現地で見かける車のナンバーがそれを物語っている。

平山温泉、最近ではガイドブックやテレビ、インターネットで高評価を博しているが、開湯の歴史は古く平安時代まで遡る。数十年前からその泉質は著しく高い評価を受けている。人々の健康への意識の高まりと、リラクゼーションを求め始めたからのようだ。

さて、平山温泉を休日に楽しむとなると、かなりの競争率になり、入浴する迄に一苦労するので予約しておいた方が得策だろう。

日帰りの立ち寄り温泉でも十分泉質の良さを堪能出来るが、たまには露天風呂付き個室でくつろぐのも良い。何しろ、山の神の機嫌が良くなり、次の釣行計画をじっくり練られるからだ(笑)。 2011盛夏平山温泉 湯山別荘「たいち」にて Tel 0968-44-1202 磯の旅人



「農業クラブ」九州大会・全国大会出場！ 八女農業高等学校

農業クラブとは農業に関する学習の充実、発展のために全国の農業高校で組織されています。本学では今年も優秀な成績を収め多くの生徒が九州大会や全国大会に出場します。



10月25日～27日長崎県で開かれる全国大会には、農業鑑定競技で生物利用科3年の平井一沙さんと大籠千尋さん、生活科学科3年の松田安梨沙さん、家畜審査競技で生物利用科2年の辻楓さんの合計4名が出場します。

九州大会は8月24～26日沖縄県で開催され意見発表会で生活科学科3年森楓さんと山口夢乃さんの2名、研究発表では齋藤瑞己君他5名のチームが出場し上位入賞を果たしました。 県大会会場にて（糸島市）**（八女農みらい館）9月の開館日** 2日(金)、6日(火)、9日(金)、13日(火)、16日(金)、20日(火)、27日(火)、30日(金)、販売時間は、10時30分～15時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

矢部川源流・杣の里の四季②

ツリフネソウ（ツリフネソウ科）



撮影場所は八女市矢部村御側（コズミドコ周辺）。杣の里の秋を代表する花の一つで谷間などの半日陰の湿った場所に生育する。花期は8月の

終わってから9月、10月にかけて長期にわたる。名前の由来は花が帆掛け船を釣り下げたような形をしているからである。杣の里溪流公園から釈迦岳登山道を少し登ると木陰にひっそりと咲くハガクレツリフネソウ、エシシウツリフネソウなども観察することができ

る。花言葉は「安楽」「心を休める」「期待」等があるが「私にさわらないで」というのもある。この花がホウセンカの仲間である種子が触るとはじけ飛ぶからであろう。（黒木町）松尾重根

眩き 傍聴に行こう

地震、原発、豪雨…

東北の重なる惨禍を見るたびに自然災害の少ない筑後地方に住む我が身の幸をかみしめた夏だった。さて春の統一地方選で

我が町の新しい議員さんが誕生した。四月の臨時議会、六月議会を経て九月議会からはいよいよ白熱した議論がかわされることになる。言うまでもないことだが議員さんの一番の仕事の場は議会での一般質問であろう。日頃の地道な努力、勉強の成果を議場で堂々と述べ、行政側と丁々発止、真剣勝負を挑む花舞台である。大向こう（満員の傍聴席）

をうならせる熟議が展開されることを期待したい。国も地方も借金がかさんでバランスシート上では企業なら倒産、個人なら自己破産のレベルまでできている。親たる国のスネがやせ細り子への仕送りもママならぬ中、今ほど行政と議員と市民が我がまちの将来について真剣に考え英知を出し合い、斬新な発想による町づくりにへの取り組みが求められる時はない。議員さんは今回の選挙で自分に投票してくれた有権者の一人一人から大きな課題を科せられていることを肝に銘じて頂きたい。有権者も産んだ子を見放すような無責任なことをせずに時間に余裕のある人

は「議場」へ出かけて応援をしよう。忙しい人も「議会だより」をしつかり読むことで今我が町で何が議論されているか、つと関心を持つとう。農林業者、商工業者、サラリーマン、年金生活者等総じて収入を減らし厳しい緊縮生活を余儀なくされている。思えば坂の上に浮かぶ白い雲も子ども頃見上げた七色の虹も久しく目にしない。若者も語るべき大きな夢を持てずにいる。議員の皆さんは議場で活発な議論を通して、我が町のあるべき姿を私たちに示してほしい。

（はるお）